

JRサービック労働組合

ジャストニュース

No. 43

2024年11月7日

JRサービック労働組合

発行責任者 柳楽 関

これを出せないわけがない！ 500万円の赤字見込みから1億2百万円の黒字へ！

11月7日、年末手当と「大阪・関西万博」の一時金要求に対する団体交渉を開催しました。会社は、2023年度の営業収支を500万円の赤字見込みから、2024年度上半期決算は1億2百万円の黒字になったことを明らかにしました。以下は、会社の趣旨説明です。

2024年度上半期の営業収益ですが、JR東海との契約内容の見直しや作業量の増加により前年同期比6.1%増の30億2千万円となり、営業利益は1億2百万円と増収増益の黒字決算となりました。

今後について、毎年実施される最低賃金の引き上げに合わせてパート社員等の時給を改正しており、これに伴い来春には社員・契約社員の基本給を見直す必要があると考えています。また来年度に予定されている大阪・関西万博に伴う業務量増加が想定されるため、要員確保に向けた採用経費の増加や、物価高に伴う物件費の増加など営業費用の増加も見込まれます。経営課題として、今後の要員減に対応するため業務改革を推進し、抜本的かつ効率的な作業体制を整備する必要があります。さらに度重なる自然災害の発生による影響についても考慮しなければいけません。

以上申し上げましたように、当社を取り巻く経営環境は課題も多く今後も予断を許さない状況にはあります。本交渉におきましては、経営状況を見通したうえで、社員の生活水準維持などにも考慮しつつ、貴側が述べられた要求趣旨も含め、真摯に議論していきたいと考えています。

次回の団体交渉は11月22日です。

満額回答を目指します！！

メールアドレス・jsrou@yahoo.ne.jp

